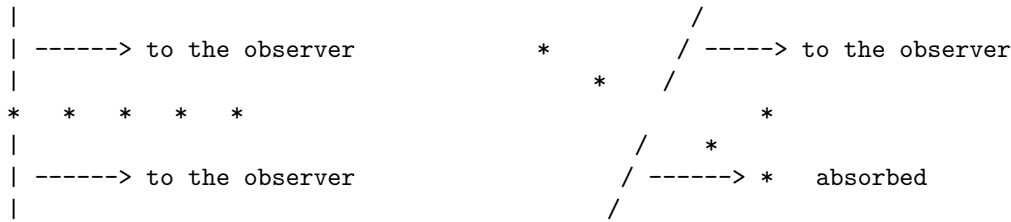


## N59a SS 433 の Slaved Disk の観測的証拠

小谷太郎、河合誠之、松岡勝 (理研)、Wolfgang Brinkmann (マックス・プランク研)

歳差運動する相対論的ジェットを持つ特異な X 線連星系 SS 433 は、その発見以来、理論面からも観測面からも精力的に研究が進められてきたが、ジェットの加速・歳差機構など、基本的な物理が未解明のままであった。しかしあすかが集積してきた観測データにより、SS 433 に関するわれわれの理解は現在急激に深化しつつある。例えばジェットの inclination が小さいと、あちら向きのジェットからの emission が  $10^{23} \text{ cm}^{-2}$  ほど吸収されることがわかった。これはジェットの軸と垂直な平面内に局在する吸収ガスを仮定するとうまく説明できる。このガスの kinematics は降着円盤の歳差を示唆するものであり、歳差機構の理論のうち、「降着円盤の歳差がジェットの歳差をひきおこす」という slaved disk scenario を支持する証拠となる。



inclination が大きい時  
どちらのジェットも等しく吸収される

inclination が小さい時  
あちら向きジェットが大きな吸収を受ける